

都市再生整備計画 事後評価シート
弥彦地区

平成24年3月

新潟県弥彦村

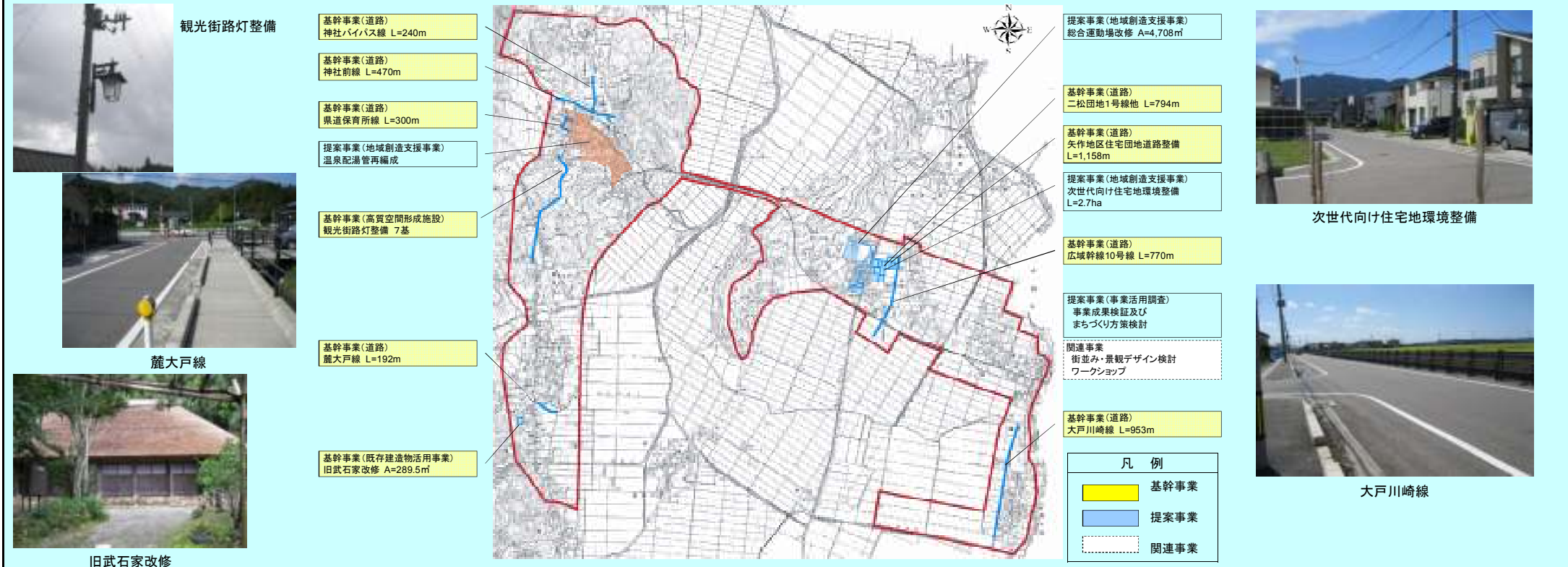
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	弥彦村		地区名	弥彦地区			面積	274.8ha
交付期間	平成19年～平成23年		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	754百万円	国費率	0.396		
1)事業の実施状況	事業名										
	当初計画から位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(広域幹線10号線、大戸川崎線、麓大戸線、矢作地区、二松団地1号線他、神社前線、神社バイパス線、県道保育所線)、高質空間形成施設(観光街路灯整備)、既存建造物活用事業(旧武石家改修)								
		提案事業	地域創造支援事業(次世代向け住宅地環境整備、温泉配湯管再編成、総合運動場改修)								
	事業名										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(村営グラウンド周辺整備) 既存建造物活用事業(備蓄倉庫改修)			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	地域創造支援事業(文化会館施設改修事業) まちづくり活動推進事業(街並み・景観デザイン検討ワークショップ)			グラウンド整備の必要性を見直すため、この事業では取りやめる。 倉庫内の防災備蓄品を見直したため、改修事業は取りやめる。			指標1:定住人口に影響があるが、指標及び数値目標は据え置く		
新たに追加した事業	基幹事業										
	提案事業	事業活用調査(事業成果検証及びまちづくり方策検討)			地域活性化交付金事業で実施したため取りやめる。観光協会が事業主体となって実施したため、関連事業に移行する。			影響なし			
交付期間の変更	当初	平成19年～平成23年		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		当地区での事後評価業務を円滑に進めるため。					影響なし
	変更	変更なし									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標1	定住人口	人	8,647	H18	8,700	H23	○	あり なし	住宅地環境の整備が進められたことによる受け皿が確保されたため、定住人口が増加した。	平成24年4月
	指標2	観光入り込み客	万人/年	242	H15	254	H23	○	あり なし	温泉の配湯管再編成や旧武石家改修などの観光地の整備改修のほか、観光客のニーズの変化等により日帰り客が増え、全体の観光入り込み客が増加した。	平成25年4月
	指標3	景観創造区域の指定	箇所	0	H18	1	H23	×	あり なし	具体的な区域指定の段階までは検討が進んでいないが、まちづくり活動の機運は醸成されつつある。	平成25年4月
	指標4	景観づくりの組織	団体数	0	H18	1	H23	○	あり なし	地域の活性化に向けて、住民主体によるまちづくりの検討が進められ、景観をはじめとしたまちづくり検討組織が組織化された。	
指標5								あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	その他の数値指標1	まち歩きイベントの実施回数	回/年	0	H18		5			定期的な開催により、村民の参加も増加をみせており、景観への関心も高まっている。	
	その他の数値指標2										
その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 彌彦神社周辺地域では、景観整備に対する意識が高く、ポストや消火栓の色を茶系色に統一するなどの活動を住民が率先して行っている。 テニスコート前駐車場を大型バス専用駐車場にすることで、観光客への駐車場の確保や渋滞緩和につながっている。 										
5)実施過程の評価	実施内容										
	モニタリング		なし	実施状況			今後の対応方針等				
				都市再生整備計画に記載し、実施できた							
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス		なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた								
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築		なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた								
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

弥彦地区(新潟県弥彦村) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
健康づくりと一体となった定住環境整備と歴史を活かした街並みや集客施設の整備による温泉街の活性化を行い、定住人口を守るとともに交流人口を増やし、「住み良い街が行きたい街」の実現を目指す。 ①定住の拠点(矢作地区)において、健康づくりと一体となった定住環境を整備し、定住人口を守る。 ②交流の拠点(弥彦地区)において、歴史資源や温泉を活用し、街並みや集客施設を整備し、交流人口の増加を図る。 ③定住と交流の拠点(麓地区)において、歴史的建造物の改修及び集客施設や高齢者施設を整備し、交流人口の増加と健康づくりを促進する。 ④各拠点を結ぶ道路の歩道や沿道景観を整備し、連携を強化する。景観やデザインの検討には「街並み・景観デザイン検討ワークショップ」を開催するなど、住民との協働体制で取り組む。	定住人口	単位:人 8,647 H18	8,700 H23	8,752 H23
	観光入り込み客	単位:万人/年 242 H15	254 H23	260 H23
	景観創造区域の指定	単位:箇所 0 H18	1 H23	0 H23
	景観づくりの組織	単位:団体数 0 H18	1 H23	1 H23



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 二松団地1号線や矢作地区住宅団地道路の整備により、住宅地の利便性や交通環境の改善が図られ、定住が促進されたものの、増加した人口を維持するための取り組みが必要である。 温泉の配湯管再編成の実施による観光資源の魅力向上が促進された。 大戸川崎線の防風柵設置等による風害の低減や、道路拡幅による安全性向上により、住環境が改善されたものの、景観まちづくりに向けた一層の取り組みが求められる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 増加した人口を維持するため、住民の要望を聞き入れながら、安全性・健康に配慮した住環境整備の実施などにより、住みよいまちづくりを行う。 地域の魅力を向上するため、住民との協働のまちづくり体制をつくり、イベントの開催や景観づくり活動などのまちづくり活動を実施し、わが村意識の醸成を図る。 観光のまちとしての魅力向上とともに、住民目線での生活環境向上を目指し、住民と観光客双方に配慮した魅力的なまちなみ景観の形成を検討する。